

# 仙北市下水道事業経営戦略 概要版

## 1. 策定の背景・趣旨

下水道事業は、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上など、暮らしを支える重要な社会基盤です。本市が経営する下水道事業は、公共下水道事業(昭和61年供用開始)、集落排水事業(平成4年供用開始)、浄化槽事業(平成10年供用開始)です。

これまで整備されてきた下水道施設を適切に維持管理し、策定されているストックマネジメント計画を基に老朽化が進む下水道施設を計画的に更新し、将来にわたって持続的・安定的に経営する必要があります。

下水道事業の経営環境は、加速する人口減少や生活様式の多様化による使用料収入の減少に加え、施設・設備の老朽化に伴う修繕費・更新改築費の増大により、年々厳しさを増しています。

令和5年9月に使用料改定(値上げ)を行いました。一般会計からの繰入金収入に依存している状況に変わりはなく、今後予想される厳しい経営環境に対応し、持続可能な下水道事業を実施していくため、その指針として「仙北市下水道事業経営戦略」を改定しました。

## 2. 計画期間

令和6年度から令和15年度までの10年間としました。

## 3. 経営の基本方針

現在、健全な下水道経営に向けた取組みを実施していますが、今後一層の経営体制の強化を図っていきます。基本方針を以下に示します。

- ①維持管理費軽減等につながる質の高い投資を効率的に行います。
- ②コスト削減を図りながら、サービスの維持・向上に努めます。
- ③水洗化率の向上に向けた啓発活動を実施し、使用料収入の確保に努めます。
- ④職員一人ひとりが健全な下水道経営を意識するよう育成に努めます。

## 4. 現状と課題

### (1)人口と有収水量の推移

本市の令和4年度末の人口は23,835人であり、今後も人口減少が加速していくと予想され、令和15年度には、人口が17,900人台になると推察されます。人口減少に伴い有収水量も減少していき、使用料収入の減少や経費回収率の低下など、経営状況が厳しくなることが予想されます。

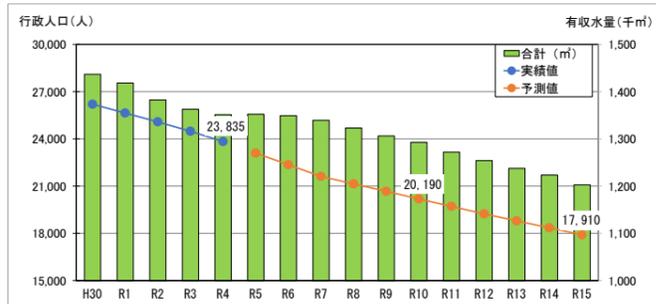


図1 人口と有収水量の推移

### (2)施設の老朽化

今後、施設の老朽化に伴い、更新需要や故障・破損に伴う修繕費用など、維持管理費の増加が見込まれます。下水道の機能維持のため、計画的な点検・調査などの維持管理を適切に行うとともに、ストックマネジメント手法の導入による計画的かつ効果的な施設管理が必要となります。

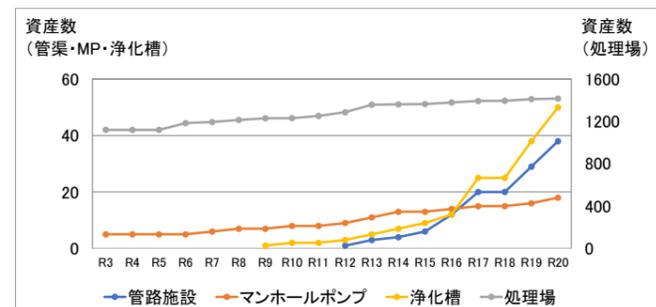


図2 耐用年数に達した資産数

## 5. 投資計画

### (1)更新計画

令和4年度にストックマネジメント実施方針の見直しを行っており、見直し後の方針に沿って更新を行っていきます。管路については、まだ耐用年数を経過していませんが、マンホールポンプについては、計画期間中に更新時期を満了するため、費用は毎年度約3千万円程度となる見込みです。ストックマネジメント計画を策定し、老朽化が進む下水道施設を計画的に更新していきます。また、下水道施設の定期的な保守点検を実施し維持管理の適正化に努めます。令和15年度には、更新費用が7億円程度になる見込みです。

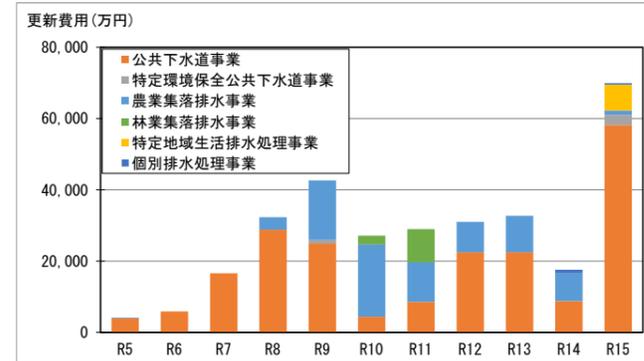


図3 更新費の推移

## 6. 財政計画

### (1)経費回収率

本市では、経営基盤の強化を図るため、収支構造適正化の取組みとして適正な下水道使用料金について検討を行いました。結果、経費回収率(=「料金収入」/「維持管理費」)100%を指標として、下水道使用料金を改定(増額)しました(※)。しかしながら、人口減少による使用料収入の減少や、維持管理費の増加により経費回収率は年々低下していくと予想されます。

※本来ならば「料金収入」/「污水处理費」(「維持管理費」+「資本費」)が100%を超えなくてはならない。

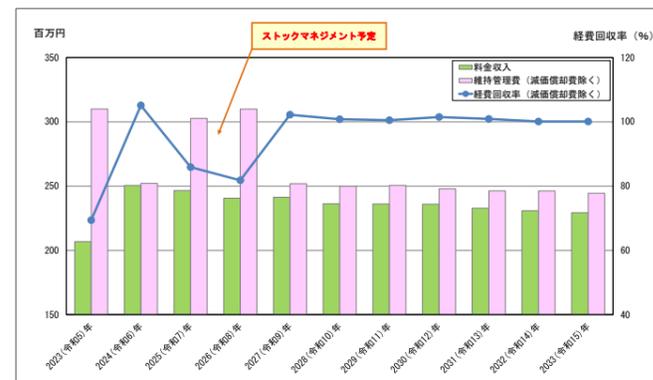


図4 経費回収率(減価償却費除く)の推移

### (2)企業債

施設の更新等が見込まれるため、企業債及び平準化債の借入れを行う予定ですが、借入額は年々減少していく計画です。

また、企業債の償還も段階的に完了し、企業債残高も令和5年度から令和15年度で10億円ほど減少する見込みです。

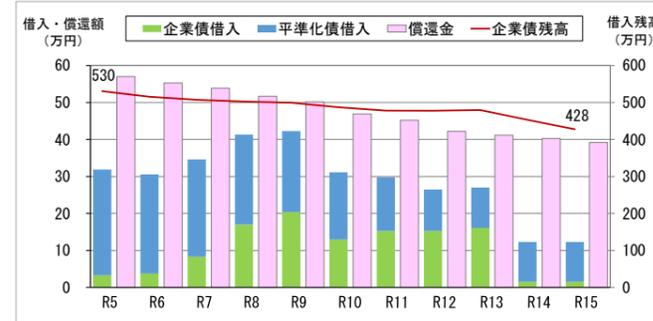


図5 企業債の推移

### (3)一般会計繰入金

污水处理費を使用料収入で賄えないことから一般会計からの繰入金が必要となります。繰入金への依存度を減らすため、効率的な維持管理を行い、経費削減に努めます。

## 7. 経費回収率向上へ向けたロードマップ

「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進について」に基づき、経費回収率向上へ向けたロードマップを以下に示します。

項目	年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経営戦略計画期間													
経営戦略見直し			◎					◎					◎
計画期間													
使用料改定の検討		→											
使用料改定			◎					◎	→	→			◎